

# 2017年度 学校法人 三幸学園 横浜スイーツ&カフェ専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 今村温子

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 野崎睦

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、製菓・調理分野の学校として「美味しくてかわいいスイーツとカフェを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、製菓・調理分野として「美味しくてかわいいスイーツとカフェを通じて時間と空間をトータルプロデュースし、人の心を豊かにする人材」を育成する(全ては、お客様の笑顔とありがとうのために)人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

## 2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### ① 前年度重点施策振り返り

・食を通して、「笑顔・信頼・感動」を生み出す人材となる為に下記10点を教職員一丸となって生徒指導をし、強化していく。

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. 技術向上に励む     | 2. 掃除徹底・衛生管理    |
| 3. 時間を守る       | 4. 元気に挨拶・返事をする  |
| 5. 「何のために」を考える | 6. ポジティブな考えを持つ  |
| 7. 本気で行動する     | 8. チームワークを大切にする |
| 9. 1日1回のありがとう  | 10. 何事も素直が一番    |

・アクティブラーニング導入の授業強化(生徒が能動的な学習ができるような授業展開)

・産学連携・地域連携の強化

### ② 学校関係者評価委員会コメント

・教育目標や重点項目として掲げていることは非常に良いと思うので、引き続き継続をしてほしい

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

#### ① 課題

- ・業界の動向や求める人材像を把握し、教育目標や人材育成方針の精度を高めていく。
- ・保護者への更なる理念浸透。

#### ② 今後の改善方策

- ・就職先やインターンシップ実習先との連携を高めていく取り組みを深め、業界動向を正確に把握し、本校が目指す方向性と業界が求める人材像とのブレをなくす。
- ・保護者来校機会の提供。（授業参観、行事見学、学内店舗実習等）

#### ③ 特記事項

食を通して、「笑顔・信頼・感動」を生み出す人材となるために具体的に示した7ヶ条に関して、生徒自身の自己点検を実施、また教職員に関しても全体会議で周知徹底し日々の各授業の中でも生徒への働きかけをしており、全校挙げての意識統一を図っている。

1. 技術向上に励む
2. 掃除徹底・衛生管理
3. 休まない・遅れない・自己管理
4. 笑顔で大きな挨拶と返事！
5. 目標を持って行動する
6. ポジティブ語を使う！
7. 各クラスに即したルール

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・採用面接時などにも学生の言葉で理念が話されたことがあり、他校よりも浸透度は高いと感じる。
- ・上記の③は新入社員として企業が求めるマスト。技術に関しては基礎があればそれ以上は特に求めている。
- ・皆勤でコミュニケーション能力が高い人材は採用したいと思う。
- ・学生には7か条の内容を覚えさせるより、それを体現している先輩の姿を見せることが何より浸透させる要因だと思う。
- ・在学中は上記③をととても意識しており、今でも染みついている。

## (2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

### ① 課題

- ・人事、労務、就業環境の整備に努め、業務の効率化を図る
- ・情報共有の徹底
- ・衛生管理の徹底

### ② 今後の改善方策

- ・業務フローの見直しや業務改善を積極的に行うことで無駄をなくし、業務の効率化を図る。
- ・教員間の情報共有の強化をすべく、会議、クラス終礼の有効活用と職員室環境の整備。
- ・飲食業を目指す学校として、地域のお客様に対する食の安心・安全を徹底。

### ③ 特記事項

- ・学校の運営方法等については、年3回全教職員を集める会議にて浸透を図ると共に、積極的に情報提供を行っている。
- ・授業や生徒指導に関することは日々の朝礼や終礼、担任会議等様々な場を通し、情報共有と意思疎通を図っている。
- ・衛生チェック、校内清掃は日々徹底と意識強化を図っている。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・生徒・教員とも専門学校に関わる以前の背景が多様化しているため、共有の場がより多く必要。  
⇒朝礼・終礼・昼礼・SHRなどの実施は有効だと思う
- ・業界としては、流れが速いからこそ短期・長期目標をそれぞれ立てさせ、成功体験を積むことが安定した人事にするために重要。また、ワークライフバランスの調整・時短勤務者の増員なども今後は重視していく必要がある。
- ・現場でも多くの企業が、今はSNSやアプリを使用し情報の共有や研修等を実施している。

### (3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

#### ① 課題

- ・教員の質や授業力の向上に向けた効果的な研修
- ・教育活動の質の向上(企業側からの意見を伺い教育活動において活かしていく)

#### ② 今後の改善方策

- ・より積極的に企業様からのご意見を聞く機会を作り、その意見や評価をしっかりとその後の教育に活かす。
- ・学内での教員研修の機会を定期的に作る。
- ・より多くの企業様とコラボレーションをし、実践的な職業教育プログラムを策定していく。

#### ③ 特記事項

- ・企業様からの派遣講師が授業を継続的に実施頂き、成績評価もつけて頂いている。
- ・実習教員の技術力向上研修を年2回は実施する。
- ・継続的な教員同士の授業見学を実施。

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・様々なルールがある中での商品開発は、難しさもあったが良い経験だったと実感できる。
- ・在学中に、英語・パソコンをはじめIT系のスキルを学ぶことは今後ますます需要が高まるのではと思う。
- ・資格について国家資格の有無は全く採用に関係しない。技術は経験が大切だが、技術よりメンタルが重要。

#### (4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

##### ① 課題

- ・退学率低減
- ・就職後の離職率低減に向けた教育プログラムと就職先斡旋

##### ② 今後の改善方策

- ・迅速な学生フォローや情報共有
- ・モチベーション維持のための仕組み作り、HRの有効活用
- ・教務力向上に向けた効果的な研修、システムの構築
- ・継続的な離職率調査

##### ③ 特記事項

- ・学年での合同HRや就職指導を定期的を実施し、学年学校全体でのフォロー体制
- ・入学前オリエンテーション、保護者会の実施、出席率強化
- ・色彩検定3級合格率78.7%(全国平均73.3%)
- ・サービス接客検定3級合格率74.0%(全国平均76.4%)
- ・商業ラッピング検定3級合格率94.7%(全国平均60.7%)
- ・就職率 96%
- ・平成29年度退学率6.7%(平成27年度 2.5%、平成28年度7.9%)

##### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・就職率:インターンの充実も大切な要素。目標を明確に持たせるためにも実習手帳の内容を見直しや、実施時期の検討などによっても効果が変わるのではないかな。
- ・退学率:入学後にこの業界ではなかったと思わせたくない⇒オープンキャンパスとのギャップをなくし、厳しさ楽しさを両方実感してもらいたい。  
悩んだら、インターン等現場へ行かせ職業観や目標を持たせてはどうか。
- ・検定:モチベーションを上げるためにも必要な取り組み。スターライセンスもとても良い制度。  
検定内容は、専攻によって不要とを感じるものもあるので、もう少し精査してもいいのではないかな。

## (5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	2
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

### ① 課題

- ・卒業後支援の強化
- ・保護者や高校とのさらなる連携
- ・担任中心の就職指導、学生への相談等支援体制の強化

### ② 今後の改善方策

- ・卒業生：継続的な教員との情報共有システムの構築。同窓会制度の充実。  
独立開業支援制度や学内情報の共有。
- ・保護者：より積極的な行事への参加依頼。何かあればすぐに相互連絡する体制の強化。
- ・高校：積極的にこちらからもキャリア教育に関する連携を検討する。
- ・在校生：担任プラス地域ごとの担当教員による就職支援の整備強化  
面談やカウンセリング体制等フォロー体制の検討。

### ③ 特記事項

- ・経済的支援として、特待生制度、学費分割制度、経済支援制度
- ・卒業生へのフォローを目的としたホームページ“Sanko Link”や同窓会プロジェクトの運営
- ・学園としての独立開業支援制度整備

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・様々な先生との関わりも深く、就職や学校生活のサポートは充実していたので、この学校に入学して良かったと感じている。
- ・独立開業者への援助、卒業生専用の求人フォーム、スタディサプリという連絡ツールを活用など、今後さらに繋がりや支援を強めてもらえるのは、卒業生として嬉しい。

## (6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

### ① 課題

- ・時代のニーズに合わせたさらに質の高い教育環境、体制の整備
- ・あらゆる災害を想定した危機管理が必要

### ② 今後の改善方策

- ・教室、実習室環境の定期的な見直し、管理の徹底、日常清掃の更なる強化
- ・震災等に備えた避難場所や施設管理の周知を強化

### ③ 特記事項

- ・災害等に備えた防災対応ポケットガイドの配布

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・各設備は十分整っていると感じたが、唯一、自身が働いている現場ではガス火のため在学中もIHよりガス火で多く学びたかった。

## (7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

### ① 課題

- ・本校の教育理念を十分に理解して、志ある新入生を確保する。

### ② 今後の改善方策

- ・募集活動を通して、本校の教育理念や特色をわかりやすく伝える。
- ・ニーズに合った情報の提供ができるように取り組む。

### ③ 特記事項

- ・一般社団法人 神奈川県専修学校各種学校協会が定めた募集時期や内容に関して遵守している。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・前述のオープンキャンパスと学校生活とのギャップを減らしていくことが一つの検討事項

## (8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

### ① 課題

#### 【中長期計画】

なし

#### 【予算・収支計画】

なし

#### 【会計監査】

なし

#### 【財務情報の公開】

なし

### ② 今後の改善方法

#### 【中期計画】

昨年度に第2次中期計画を策定している。今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

#### 【財務情報の公開】

なし

### ③ 特記事項

なし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし



## (9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
自己評価結果を公開しているか	4

### ① 課題

- ・更なる法令遵守の推進
- ・自己評価にもとづいた問題点の改善

### ② 今後の改善方策

- ・会議や掲示物などを通じて、全ての教職員に対して法令遵守をさらに徹底させる。
- ・自己評価の継続的实施と問題点の明確な洗い出し、改善策の実践。

### ③ 特記事項

- ・平成 26 年度自己評価結果より公開

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・引き続き管理を徹底していく

## (10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3

### ① 課題

- ・ボランティア活動を含む社会貢献の更なる推進

### ② 今後の改善方策

- ・社会・地域貢献活動への更なる積極的な取り組み

### ③ 特記事項

- ・学内店舗実習の積極的展開(1階店舗実習室にて)
- ・地域貢献活動(ハロウィンイベント、地域老人ホームイベント、スポーツイベント、地域交流会の運営等)

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・前述にもあるが、企業との新しい取り組みも積極的に行っていきたい。
- ・一緒に何かできたらお互いにとっても非常に良いと思う。そこに卒業生も絡めても面白そう。

## (11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	3
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
学内で適切な体制が整備されているか	3

### ① 課題

- ・積極的な留学生募集を行っているとは言い難い
- ・留学生の卒業後の進路、求人開拓が少ない

### ② 今後の改善方策

- ・今後より多くの留学生が入学した場合を想定して、適切な指導・支援体制作り

### ③ 特記事項

- ・特になし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・国際交流は時代として加速化していくことが見込まれるため、積極的に取り組み、法的な知識も同時に蓄える必要がある。

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・目標や取り組みは非常に良いものだと感じた。企業側としても参考になることもあり、有意義な時間であった。
- ・卒業生として在学時代を振り返る良い機会となったし、他企業の方のお話を聞いたこともためになった。
- ・専門学校体制や教育内容及び、実社会の話聞けるこの会に参加ができ、進路指導をするうえでも非常に有益な時間だった。
- ・今後も高校、専門学校、企業が連携を取って、様々な意見交換をしながら一緒に取り組んでいきたい。